

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また、医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、此の度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

[9936] シスタチンC 《ラテックス凝集比濁法》

受託開始日

平成18年10月2日(月)

シスタチンC《ラテックス凝集比濁法》

シスタチンCはシステインプロテアーゼ・インヒビター機能を有する分子量13kDaの塩基性蛋白質で、全身の臓器・組織の有核細胞において、細胞内外の環境変化の影響を受けずに、常に一定量が産生・分泌されます。細胞外に分泌されたシスタチンCは腎系球体で濾過され、近位尿細管から再吸収されるため、腎機能の悪化に伴いその血清中濃度は増加します。

糸球体濾過量(GFR)の指標としては、現在、血清クレアチニンやクレアチニン・クリアランス(CCR)がよく用いられています。しかしながら、クレアチニン産生量が筋肉総量と比例するため、クレアチニン値は性別・年齢等の影響を受けること、またCCRの場合には精度よく蓄尿する必要があり、外来診療で実施しづらいという難点がありました。これに対してシスタチンCは性差や年齢・体格差の影響を受けず、GFRの良い指標となることが報告されています。

ラテックス凝集比濁法による本法は、自動分析装置により精度の高い測定が可能となります。また、報告所要日数の短縮も可能となりました。

検査要項

項目コード	9936
検査項目名	シスタチンC
検体量	血清 0.3 mL
保存方法	冷蔵
検査方法	ラテックス凝集比濁法(LA法)
基準値	0.50~0.90 mg/L
所要日数	2~3日
検査実施料	130点
検査判断料	155点(生化学的検査)
定価	2,350円
備考	尿素窒素(BUN)又はクレアチニンにより腎機能低下が疑われた場合に、3月に1回に限り算定できます。

主な対象疾患

糸球体腎炎
糖尿病性腎症

関連検査項目

クレアチニン
クレアチニン・クリアランス

ラテックス凝集比濁法の検査開始に伴い、ネフェロメリー法によるシスタチンC(2021)の受託は、本年10月31日(火)をもって中止させていただきます。

検査方法参考文献

齊藤のり子, 他: 日本臨床検査自動化学会会誌 30: 464, 2005.